

3月定例会 代表質問

笠 栄 会

之 博 尾 妹 質 問 者
人 英 田 石 所 属 議 員
之 益 本 大

高木市長の3期12年の新しい笠岡への「土づくり」と「種まき」について

議員 ①市長は12年前の市長選出馬に当たり、新しい笠岡の土づくりに徹したい、そして、笠岡の新しい目指すべきまちづくりの種まきをやりたいと言ったが、今、12年間の任期を通じてどのような土をつくることのできたと考えているのか。
②平成24年度の当初予算は

必要最小限のいわゆる骨格予算だが、市制60周年を迎える記念の年のスタートに当たり、どういった事業を種と位置づけ、どこに予算のポイントを置いたのか。

市長 ①財政の健全化が土づくりの原点であると思っ
ている。そして、都市計画区域の線引きの廃止、自治基本条例の制定、笠岡湾干拓の有効活用である。これらの取り組みにより、将来、花を咲かせるための土づくりをなし得たのではないか
と思っ
ている。

②私が種と位置づけている事業のキーワードは「新しい笠岡のまちづくり」である。市民との協働によるまちづくり、定住促進、防災対策の強化、道の駅笠岡ベイファームのさらなる活性化である。こういった事業については、骨格予算ではあるが、特にポイントを置き、予算編成をした。
このほかにも、笠岡諸島の振興、教育の充実、福祉、子育て支援など、各分野で

もしつかりと種まきをして
いるので、さわやかな、そ
して大きな花が咲くことを
確信し、期待もしている。

神島保育所移転・建 替事業の一時保留に ついて

議員 2月21日の記者発表
において、市長は、神島保
育所の移転・建替事業につ
いて、一時保留とすること
を発表した。

①なぜ、今の時期に一時保
留としたのか。
②移転先を瀬戸地区から変
更する考えはないのか。
市長 ①市として瀬戸地区
移転という方向性を示す中

で、神島まちづくり協議会
からも瀬戸地区移転推進の
申入れをいただいた。一方
では、移転先に不安を覚え
る保護者からの切実な声も
聞いている。

そういう状況を踏まえて、
総合的に検討する中で、現
在、国や県で行われている
防災計画の見直しの結果を
見て、被害想定等状況を十
分把握した上で事業を進め
ていくことが最善であると
判断したので、一時保留と
決定した。

②防災計画の見直しの結果
によるが、現時点ではこの
地区を変えるという考えは
持っていない。

議員 目標となる年月日は
必要ではないかと思うが、
どうか。

市長 防災計画の結果を見
て、関係者で十分な話し合
いをする必要があると思っ
ている。完成時期も、その
結果を見てみないとわから
ないので、いつどうする
というようなことを言う時
ではないと思っ
ている。

公明クラブ

明 照 藤 金 質 問 者
正 山 明 小 所 属 議 員

超高齢社会に向けての
医療介護政策について

議員 高齢者が自宅や地域
で安心して暮らし続けるた
めの地域ケア体制整備につ
いての考えをたずねる。

市長 地域ケア会議を開催
し、地域包括ケア体制の充
実を進めている。また、地
域ごとの体制については、
小地域ケア会議を核とした
取り組みを行っている。平
成23年度までに6カ所設置
しており、最終的には、市
内25カ所の設置を目指して
いる。

災害に強いまちづく
りに
ついて



神島保育所